ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

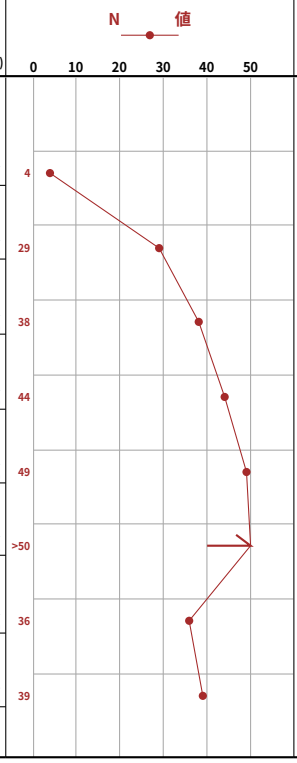
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B-2	調査位置				北　緯	36 ° 52 ' 11.0500 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　整備部			調査期間	2010-08-26 ～ 2010-08-30	東　経	139 ° 59 ' 50.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	225.22 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 20.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	224.92	0.30	0.30		砂礫 (GS)	暗灰			礫径10から40mm主体。シルト混入		
					埋土 (FI)	暗褐灰		中位	礫混じりシルト。部分的に砂礫状 礫径10から50mm主体。 含水比は下位。緩い。		
1	223.92	1.00	1.30								
					埋土 (FI)	茶褐灰		硬い	礫混じりローム状を呈す。 粘着弱く、全体にやや固結する。		
	223.42	0.50	1.80								
2					砂礫 (GS)	暗灰	中ぐらい		礫径2から60mm円礫主体。 間隙は粗粒砂をルーズに充填 下部は含水高位、孔壁が崩れる		08/27 2.42
	222.12	1.30	3.10								
3					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	密な		礫径2から60mmの円、亜角礫主体 間隙に粘土分を含む粗粒砂充填 含水比は中位から高位。 全体にやや締まる。 コア長5から10cm玉石点在。 部分的に粘土分多い。		
4											
5											
6	218.77	3.35	6.45								
	218.32	0.45	6.90		玉石混り砂礫 (GS-B)	暗褐灰	密な		礫径2から65mmの円、亜角礫主体。コア長5から10cmの玉石混入 礫間中細砂充填、含水中位		
7					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	密な		礫径2から60mmの亜角礫主体 間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。 含水比は中位から高位。		
8	216.77	1.55	8.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0 ｜ 10	10 ｜ 20	20 ｜ 30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	2 / 12	1 / 9	1	4 / 31	4
1.46					
2.15	9	10	10	29 / 30	29
2.45					
3.15	11	13	14	38 / 30	38
3.45					
4.15	13	18	13	44 / 30	44
4.45					
5.15	17	16	16	49 / 30	49
5.45					
6.15	14	14	22 / 6	50 / 26	>50
6.41					
7.15	12	11	13	36 / 30	36
7.45					
8.15	12	15	12	39 / 30	39
8.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.15	1	⊖		
1.45				
2.15	2	⊖		
2.45				
3.15	3	⊖		08/26
3.45				
4.15	4	⊖		
4.45				
5.15	5	⊖		
5.45				
6.15	6	⊖		
6.45				
7.15	7	⊖		
7.45				
8.15	8	⊖		08/27
8.45				